

**SONY**  
make.believe

# Report 2010

2010年3月期 報告書

2009年9月、豊かな想像を現実  
結びつけるというソニーが創業  
以来持ち続けている企業姿勢を  
“make.believe”（メイク・ドット・  
ビリーブ）という言葉で表現し、  
ソニーグループの新たなブランド  
メッセージとして全世界に導入する  
ことを発表しました。

今後は、ソニーグループ内に有する  
ユニークな商品やコンテンツ、サー  
ビスを、“make.believe”とともに  
お客様にお届けすることで、ブランド  
力のさらなる強化をめざします。

## 目次

株主の皆様へ	1
業績ハイライト	3
ビジネス別営業の概況	6
CSR(企業の社会的責任) の取り組み	19
取締役および執行役	20
株式の状況	21
株主メモ	22

\*新商品情報(12~14頁)をご参照ください。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。  
ソニーグループの2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日  
まで)の連結業績は、主に金融分野での損益改善および液晶テレ  
ビを含むコンシューマープロダクツ&デバイス分野を中心とした売  
上原価率の改善、販売費・一般管理費の削減により、前年度の  
2,278億円の営業損失から黒字に転換し、318億円の営業利益を  
計上することができました。

2009年度の期末配当金につきましては、前年度と同額の1株につき12円50銭とし、本年6月  
2日を支払開始日とさせていただきます。2009年12月に1株につき12円50銭の中間配当金  
をお支払いしておりますので、年間配当金は25円となります。

2010年度については、引き続き事業構造の改革によるコスト削減を一層進め、持続的に  
利益を出せるよう経営体質を強化いたします。また、ソニー・エリクソンのスマートフォン  
Xperia™(エクスペリア)\*や一眼レフカメラの高画質とコンパクトさをひとつにしたレンズ交  
換式デジタルカメラ\*など、ソニーらしい競争力のある商品もでてきており、さらに将来にわ  
たる成長をめざし、コンテンツ制作からディスプレイまで幅広い市場機会がある3Dビジネス  
およびネットワークサービスや新規事業の立上げなど、今後の収益源を創出するための取り  
組みを積極化させてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年6月

代表執行役 会長 兼 社長 CEO  
ハワード・ストリンガー



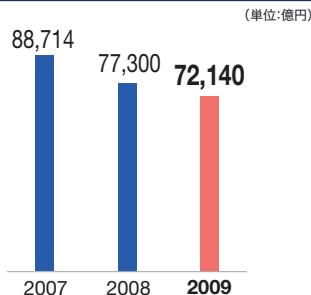
## 業績ハイライト (2009年度連結業績)

売上高および営業収入	7兆2,140億円 (-6.7%)
営業利益	318億円 ( - )
税引前利益	269億円 ( - )
当社株主に帰属する当期純損失	408億円 ( - )

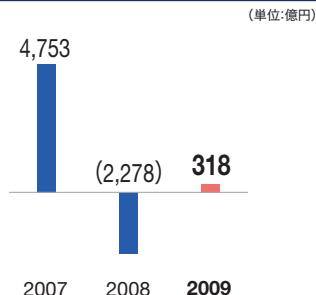
\* ( ) は前年度比

- 営業利益は、前年度の損失から黒字転換し、当年度は318億円の利益を計上
- 金融分野および液晶テレビを含むコンシューマプロダクツ&デバイス分野が損益改善に寄与
- 金融分野を除く営業活動および投資活動による連結キャッシュ・フローの合計は3,000億円以上のポジティブに

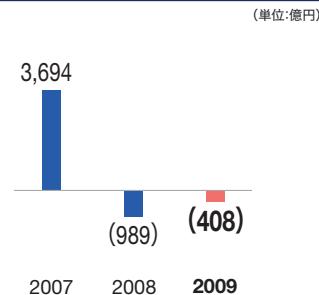
### 売上高および営業収入



### 営業利益 (損失)



### 当社株主に帰属する当期純利益 (損失)



## 主要連結財務データ

	2007年度	2008年度	2009年度
	億円	億円	億円
売上高および営業収入	88,714	77,300	72,140
営業利益 (損失)	4,753	(2,278)	318
税引前利益 (損失)	5,671	(1,750)	269
当社株主に帰属する当期純利益 (損失)	3,694	(989)	(408)
基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益 (損失) (円)	368.33	(98.59)	(40.66)
設備投資額	3,357	3,321	1,927
研究開発費	5,206	4,973	4,320
総資産	125,527	120,135	128,661
純資産	37,419	32,166	32,856
1株当たり純資産(円)	3,453.25	2,954.25	2,955.47
1株当たり配当金(円)	25.00	42.50	25.00

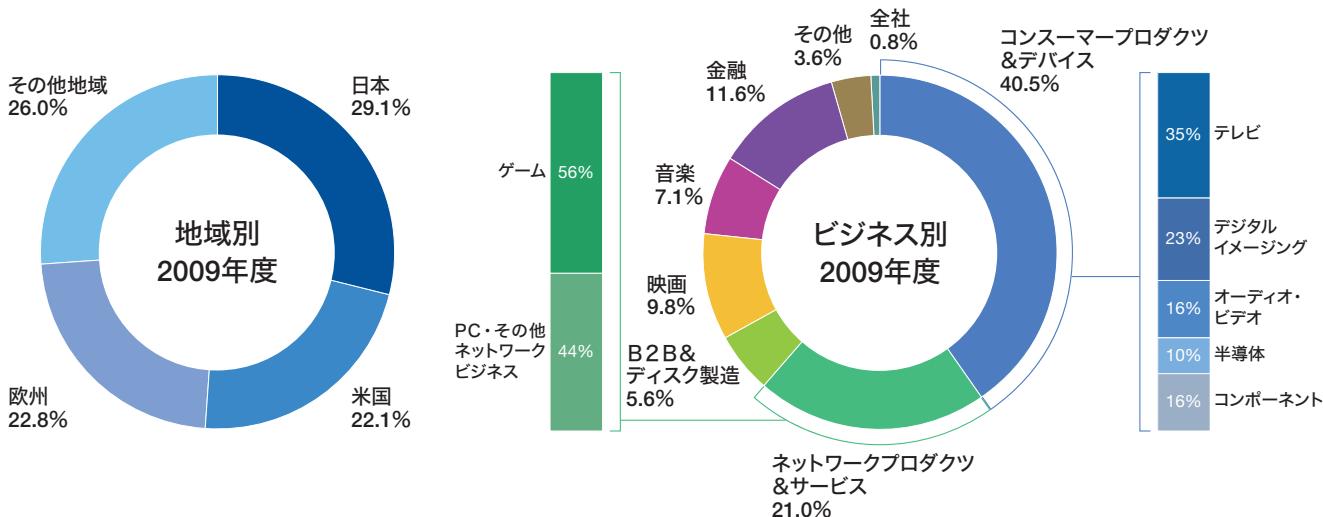
(注1) 2008年度より、持分法による投資損益を営業利益(損失)の一部として表示しています。これにともない、2007年度の営業利益および税引前利益を組替え再表示しています。

(注2) 2009年度より、連結財務諸表における非支配持分に関する会計基準にしたがい、表示および開示に関して当基準を遡及適用しました。これにより、従来、連結貸借対照表上の負債の部と資本の部の中間に独立の科目として表示していた少数株主持分を、非支配持分として連結貸借対照表上の資本の部に含めて表示しています。また、連結損益計算書上の当期純利益(損失)は、非支配持分に帰属する当期純利益(損失)を含めて表示しています。当基準の表示に関する規定は遡及的に適用され、過年度の連結財務諸表を組替え再表示しています。

(注3) 純資産額は米国会計原則にもとづく資本合計を使用しています。

(注4) 1株当たり純資産額は、当社株主に帰属する資本合計を用いて算出しています。

## 売上高構成比



(注1) 地域別およびビジネス別の売上高構成比は、外部顧客に対する売上高および営業収入にもとづいて算出したものです。

(注2) 地域別の売上高構成比は、顧客の所在地別に表示されています。

5

## ビジネス別営業の概況

以下の説明における各分野の売上高および営業収入(売上高)はセグメント間取引消去前のものであり、また各分野の営業損益はセグメント間取引消去前のもので配賦不能費用は含まれていません。

### 売上高

	2008年度	2009年度	増減率
	億円	億円	%
■ 消費者プロダクツ&デバイス	40,315	32,277	-19.9
■ ネットワークプロダクツ&サービス	17,556	15,758	-10.2
■ B2B&ディスク製造	5,600	5,042	-10.0
■ 映画	7,175	7,052	-1.7
■ 音楽	3,871	5,226	+35.0
■ 金融	5,382	8,514	+58.2
■ その他	3,184	2,619	-17.8
■ 全社・セグメント間取引消去	(5,783)	(4,349)	—
■ 連結	77,300	72,140	-6.7

### 営業利益(損失)

	2008年度	2009年度	増減率
	億円	億円	%
■ 消費者プロダクツ&デバイス	(1,151)	(465)	—
■ ネットワークプロダクツ&サービス	(874)	(831)	—
■ B2B&ディスク製造	65	(72)	—
■ 映画	299	428	+43.1
■ 音楽	278	365	+31.1
■ 金融	(312)	1,625	—
■ ソニー・エリクソンの持分法による投資損益	(303)	(345)	—
■ その他	(42)	(48)	—
■ 全社・セグメント間取引消去	(239)	(340)	—
■ 連結	(2,278)	318	—

(注)2009年4月1日付の機構改革にともない、2009年度よりビジネスセグメント区分の変更を行いました。主に、従来のエレクトロニクス分野およびゲーム分野に含まれていた事業を再編成し、消費者プロダクツ&デバイス分野、ネットワークプロダクツ&サービス分野、B2B&ディスク製造分野を新設しました。また、音楽分野を新設し、ソニー・エリクソン(携帯電話事業の合併会社)の持分法による投資損益については、単独のセグメントとして表示しています。これにともない、2008年度の実績を修正再表示しています。

6

## 売上高(3兆2,277億円) 前年度比19.9%の減少

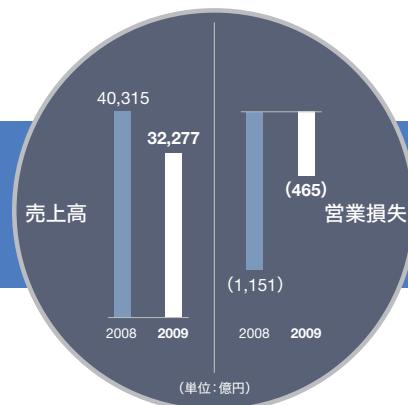
- 外部顧客に対する売上は前年度比18.8%の減少
- 分野全体で為替の悪影響を受けたことに加え、製品別では、価格下落の影響を受けた液晶テレビ「BRAVIA」、市場縮小の影響を受けたビデオカメラ「ハンディカム®」およびコンパクトデジタルカメラ「サイバーショット」が減収

## コンシューマプロダクツ&デバイス分野

テレビ事業、デジタルイメージング事業、オーディオ・ビデオ事業、半導体事業、コンポーネント事業などで構成されています。

## 営業損失(465億円) 前年度比686億円の改善

- 減収による売上総利益の減少、為替の悪影響、構造改革費用の増加などがあったものの、売上原価率の改善、販売費・一般管理費の削減により損益が改善
- 製品別(構造改革費用を除くベース)では、減収の影響を上回るコスト削減を実現した液晶テレビやコンパクトデジタルカメラ、売上が増加したイメージセンサーなどが損益改善、コストダウンによる単価の引き下げにともない減収となったゲーム向けシステムLSIなどは減益



## 売上高(1兆5,758億円) 前年度比10.2%の減少

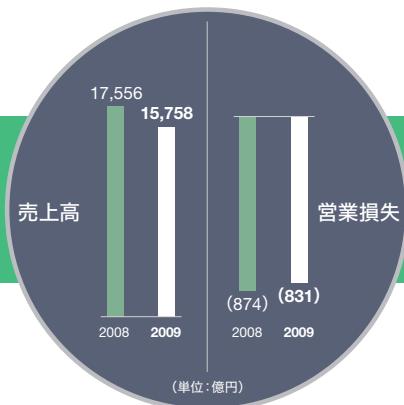
- ゲーム事業、PC「VAIO」などの減収により、分野全体で減収
- ゲーム事業は、新型モデルを発売した「プレイステーション 3」(PS3®)の普及拡大により、PS3ソフトウェアの売上数量が増加したものの、為替の悪影響に加え、PSP®「プレイステーション・ポータブル」(PSP®)ハードウェア、「プレイステーション 2」(PS2®)ソフトウェアの売上数量減少などにより減収

## ネットワークプロダクツ&サービス分野

ゲーム事業およびPC・その他ネットワークビジネス事業で構成されています。

## 営業損失(831億円) 前年度比44億円の改善

- ゲーム事業の損益が悪化したものの、デジタルミュージックプレーヤー「ウォークマン®」などの損益改善により、分野全体で営業損失が縮小
- ゲーム事業は、PS3ハードウェアのコスト改善、PS3ソフトウェアの売上数量の増加があったものの、PS2ソフトウェア、PSPハードウェアの売上数量の減少などにより損益が悪化



## 売上高(5,042億円) 前年度比10.0%の減少

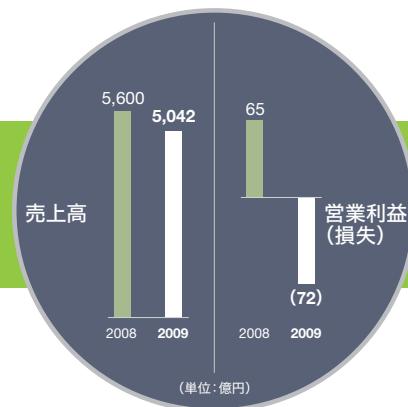
- 外部顧客に対する売上は前年度比13.0%の減少
- 為替の悪影響に加え、放送・業務用機器の売上が先進諸国における事業環境の悪化により減少したこと、ディスク製造事業において価格下落の影響を受けたことなどにより、分野全体で減収

## B2B&ディスク製造分野

放送・業務用機器などのB2B事業およびブルーレイディスク、DVD、CDのディスク製造事業で構成されています。

## 営業損失(72億円) 前年度比137億円の悪化

- 上記の要因により、放送・業務用機器およびディスク製造事業の損益が悪化



## ソニーが描く3Dの世界

コンテンツ制作から上映・再生まで一貫したソニーの3Dデジタルソリューション

### ソニーならではの3Dエンタテインメントを提供

映画・放送・ゲームなどのコンテンツ制作から、配信・提供、そして映画館での上映やご家庭での視聴まで、一貫した3Dエンタテインメントを提供。

### 2010年を3Dホームエンタテインメント元年へ

6月より3D「BRAVIA」を発売。また、3D対応ブルーレイディスクプレーヤー、PC「VAIO」、デジタルカメラなどの3D対応製品を2010年中に商品化予定。



\*製品写真はイメージです。

## 3D映像の原理

### どうして立体的に見えるのか？

通常、人は左右の目の間隔を利用し、目の前にあるものを左右で異なった角度から見ています。右目・左目を交互につむり、片方の目だけで目の前にあるものを見ると、左右の角度の違いがわかります。この右目・左目から入った2つのイメージを頭の中で合成することで、奥行き感、立体感を認識しているのです。これは「両眼視差」と呼ばれ、この仕組みを映像撮影時に利用したものが、3D映像の原理です。

### 視差の応用、3D撮影・再生のしくみ

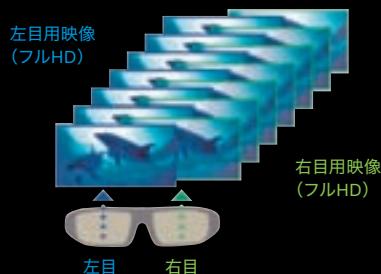
3D映像の撮影時には、右目用・左目用の2つのレンズを利用し、それぞれ異なった角度で被写体を撮影します。通常の2Dの平面映像に比べて、2倍の情報量になる3D映像は、左右の映像情報を保持したまま編集されます。そして再生時には、右目用の映像は視聴者の右目だけに表示、左目用の映像は左目だけに表示することで、視聴者の頭の中で2つのイメージが重なり、立体的な映像として認識することが可能となるのです。

ソニーは、ハイフレームレート液晶パネルを使用した「フレームシーケンシャル表示方式」により、フルハイビジョン画質の鮮明な映像表示を実現しました。フレームシーケンシャル表示方式では、撮影された右目用映像、左目用映像を交互に画面上に表示。その映像を画面上の映像表示と同期するように制御されたアクティブシャッターメガネを通して見ることにより、フルハイビジョンの高画質をそのままに、左目用の映像・右目用の映像を正確に左右の目へ表示します。

### ◆ 3D映像の再生(イメージ)

#### フレームシーケンシャル表示方式

右目には右目用、左目には左目用のフルハイビジョン映像を交互に再生。



#### アクティブシャッターメガネ

テレビ側から、3Dメガネのレンズシャッターを制御して、左右のレンズを交互に開閉。

## 新商品情報



液晶テレビ「BRAVIA」  
KDL-52LX900

3Dメガネを同梱し、すぐにリアルな3D映像をご家庭の大画面で楽しめるモデルです。ホームエンタテインメント機器に共通の新たなデザインテーマである、モノリシックデザインを採用しています。



液晶テレビ「BRAVIA」  
KDL-52HX900

ラインアップの中で、最高画質を誇る3D対応モデル。LEDバックライトの発光を最適に制御し、映像本来がもつ黒の深みを再現する「インテリジェントダイナミックLEDバックライト」を搭載しました。

\*KDL-52HX900と専用スタンド(別売)の組み合わせ

\*3D映像を視聴するには、別売の3Dメガネおよび3Dシンクロトランスミッターが必要です。



ブルーレイディスクレコーダー  
BDZ-RX105

基本操作をわかりやすくガイドする「らくらくスタートメニュー」に加え、より快適に録画や視聴をお楽しみいただける「おまかせリモコン」を新たに採用しました。



レンズ交換式デジタルカメラ  
NEX-5

新開発の有効1420万画素の“Exmor” APS HD CMOSセンサーと高性能交換レンズによって、写真と動画が一眼レフの画質で楽しめる世界最小\*・最軽量\*のレンズ交換式デジタルカメラです。

\*レンズ交換式デジタルカメラボディとして(2010年5月発表時点)



**デジタルカメラ「サイバースhoot」  
DSC-TX7**

世界で初めて\*1920×1080/60i、AVCHDのフルハイビジョン動画撮影を実現。夜景や室内撮影に強い「裏面照射型構造」のCMOSセンサー“Exmor R”や、広角25mm・光学4倍ズームレンズを搭載しています。

\*レンズ一体型デジタルカメラとして(2010年2月発売時点)



**デジタルフォトフレーム  
「S-Frame」Xシリーズ DPF-X75**

黒の深みを忠実に再現する“TruBlackディスプレイ”方式と全方向視野角160度を実現した広視野角液晶パネルを搭載。斜めからでも高画質で美しい写真を鑑賞することができます。



**携帯電話  
ソニー・エリクソン・  
モバイルコミュニケーションズ株**

**Xperia™ (エクスペリア、SO-01B)  
NTTドコモ向け**

直感的にコンテンツを操作できる独自機能や、高性能CPU、4.0インチ液晶、810万画素AFカメラなどを搭載。携帯電話による新しいエンタテインメント、コミュニケーション体験を実現しました。

\*「Xperia」はSony Ericsson Mobile Communications ABの商標または登録商標です。



**PC「VAIO」Zシリーズ  
VPCZ119FJ/S**

13.1型の高精細ディスプレイを搭載し、高性能、本体重量約1.36kgを実現した携帯性、使い勝手の良さなど、すべてをあわせ持ったモバイルPCです。



**PSP向けコミックコンテンツ配信開始**

PlayStation®Storeでは、ゲーム、アニメ・映画、ミュージッククリップに加え、コミックもダウンロードできるようになりました。高精細画面と快適な操作性を兼ね備えるPSPで人気コミックを気軽に持ち歩いて楽しめます。

**torne(トルネ)™**

地上デジタルチューナーと視聴・録画アプリケーションをセットにしたPS3専用地上デジタルレコーダーキット。操作性を重視したユーザーインターフェイスを使って、地上デジタルテレビ放送の視聴、録画が簡単に行えます。



**PlayStation®Moveモーションコントローラ(2010年秋発売)**

PS3用USBカメラと組み合わせることにより新たな楽しみを提案するPlayStation®Moveモーションコントローラ。プレイヤーの動きを忠実にゲームに反映し、リアルで直感的な操作を可能とします。

## 売上高(7,052億円) 前年度比1.7%の減少

- 米ドルに対する円高により減収(米ドルベースでは7%の増収)
- 米ドルベースでは、当年度に公開された映画作品の劇場興行収入および映像ソフト収入が全世界で好調だったこと、SPEの保有する米国外のテレビネットワークにおける広告収入が増加したことなどにより増収
- 当年度の売上に貢献した劇場公開作品：  
「2012」、「天使と悪魔」、「マイケル・ジャクソン THIS IS IT」など

## 映画分野

米国を拠点とするソニー・ピクチャーズエンタテインメント(SPE)による映画およびテレビ番組などの事業で構成されています。

## 営業利益(428億円) 前年度比43.1%の増加

- SPEが保有していた中南米のプレミアム有料テレビ事業および米国のケーブルネットワーク会社の持分の一部、中欧のプレミアム有料テレビ事業の全持分の売却により、合計303億円の売却益を計上したことなどにより増益



ソルト

© 2010 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

何者かの陰謀によって、ロシアのスパイ容疑をかけられたCIAエージェント、イヴリン・ソルト。容疑を晴らすため、ソルトの孤独な戦いが始まる――。主演アンジェリーナ・ジョリーで贈るサスペンス・アクション大作です。(2010年7月31日 日本公開予定)



ベスト・キッド

© 2010 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

カンフー修行を通して、いじめられっ子から、心身ともに成長してゆく少年を描く感動ドラマ。1984年製作の同名ヒット作を、舞台を中国に移し、ジェイデン・スミス&ジャッキー・チェン主演でリメイクした話題作です。(2010年8月14日 日本公開予定)



食べて、祈って、恋をして

© 2010 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

NYで活躍する女性ジャーナリストが、離婚と失恋を経て、すべてを捨てて自らを探す旅に出る。イタリアで、インドで、バリ島で、彼女がみつけてゆく幸せとは――。全世界の女性から絶大な支持を受けた700万部のベストセラーをジュリア・ロバーツ主演で完全映画化。(2010年9月17日 日本公開予定)

## 売上高(5,226億円) 前年度比35.0%の増加

- 前年度は2008年10月1日以降、SMEがソニーの100%子会社として連結されたことに対し、当年度は1年間連結されていたことにより増収
- 前年度に1年間SMEを100%連結していたと仮定した場合と比較すると、米ドルに対する円高の影響、パッケージメディアの音楽市場の縮小が継続していることにより、音楽分野の売上高は5%の減少
- 当年度の売上に貢献した音楽作品：  
スーザン・ボイルの「I Dreamed A Dream / 夢やぶれて」、映画「マイケル・ジャクソン THIS IS IT」のサウンドトラック、いぎものがかりの「ハジマリノウタ」など



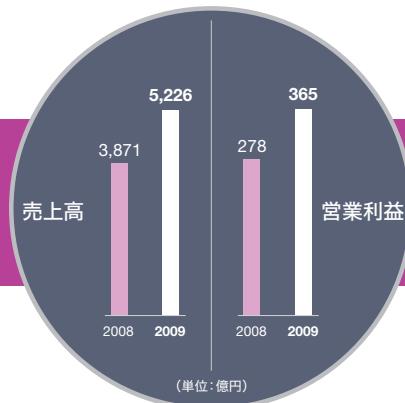
スーザン・ボイル<sup>※</sup> マイケル・ジャクソン いぎものがかり

## 音楽分野

米国を拠点とするソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)および日本の(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント(SMEJ)による音楽制作事業などで構成されています。

## 営業利益(365億円) 前年度比31.1%の増加

- 前年度に1年間SMEを100%連結していたと仮定した場合と比較すると、音楽分野の営業利益は72%の増加
- SMEおよびSMEJにおいて、ヒット作品やマイケル・ジャクソンのカタログ作品の貢献があったこと、構造改革費用が前年度に比べ減少したことなどにより増益



\*Photo Credits Images by Hugh Stewart as appeared in the September 2009 issue of Harper's Bazaar U.S

17

## 金融ビジネス収入(8,514億円) 前年度比58.2%の増加

- 主にソニー生命の増収により、分野全体で増収
- ソニー生命の収入は、前年度は世界的な金融危機の影響により日本の株式相場が大幅に下落したのに対し、当年度は大幅に上昇したことから、特別勘定における運用損益の改善、一般勘定における新株予約権付社債の評価損益の改善、一般勘定における株式の減損の大幅な減少などにより、大幅に増加
- ソニー生命の保険料収入は、保有契約高の堅調な推移により増加

## 金融分野

ソニー生命保険(株)(ソニー生命)、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)などを傘下におくソニーフィナンシャルホールディングス(株)(SFH)および(株)ソニーファイナンスインターナショナルによる金融事業で構成されています。

## 営業利益(1,625億円) 前年度比1,936億円の改善

- 主にソニー生命の営業損益の改善により、分野全体で損益が改善
- ソニー生命の営業損益は、日本の株式相場の上昇にともなう、一般勘定における新株予約権付社債の評価損益の改善、特別勘定の変額保険にかかる将来運用利回りの変更による責任準備金繰入額の減少、一般勘定における株式の減損の大幅な減少などにより、大幅に改善

\*上記のソニー生命の業績は米国会計原則に則って算出されていますので、SFHおよびソニー生命が日本の会計原則に則って個別に開示している業績とは異なります。



18

## CSR(企業の社会的責任)の取り組み

CSR(企業の社会的責任)ウェブサイト <http://www.sony.co.jp/csr/>

ソニーは、コーポレートガバナンス(企業統治)・コンプライアンス(法令その他の規範を遵守すること)・品質管理体制の強化、健全な雇用・労働環境の実現、環境保全活動、社会貢献活動などを通じて、For the Next Generation(次世代のために)の精神のもと、グループ全体でCSR活動に取り組んでいます。

### 持続可能な社会へ向けた環境・社会貢献への取り組み

ソニーは自らの事業活動および製品のライフサイクルを通して、長期的に「環境負荷ゼロ」を目指し、環境計画「Road to Zero」を推進しています。「環境負荷ゼロ」達成に向けた2015年までの中期目標を定め、生産、物流などの企業活動における徹底した効率化による温室効果ガスの削減、環境配慮製品の創出や環境・エネルギー技術の開発、資源循環、化学物質管理、生物多様性保全など総合的に取り組んでいます。

またソニーは、南アフリカ共和国での2010 FIFA ワールドカップ開催に合わせ、国連開発計画(UNDP)、国際協力機構(JICA)と連携し、出場国でありながらテレビ普及率が充分でないカメルーン共和国とガーナ共和国において、パブリックビューイングを実施します。その他、開催国の子どもたちを、現地NGOの行うHIV/エイズの予防教育への参加を条件に試合観戦に招待するなど、サッカーを通じた社会課題の解決を目指した活動「Dream Goal 2010」を行っています。



環境計画「Road to Zero」を報道関係者に説明



2009年にガーナ共和国で実施したパブリックビューイングの様子

## 取締役および執行役(2010年5月1日現在)

取締役	
Howard Stringer ハワード・ストリンガー	中 鉢 良 治
大根田 伸 行	*小 林 陽太郎
*橘・フクシマ・咲江	*宮 内 義 彦
*山 内 悦 嗣	*Peter Bonfield ピーター・ボンフィールド
*住 田 笛 雄	*張 富 士 夫
*安 田 隆 二	*内 永 ゆか子
*矢 作 光 明	*謝 正 炎 サンヤン・シェー
*Roland A. Hernandez ローランド・ヘルナンデス	

(注)※は社外取締役です。

執行役		
代表執行役 (CEO)	会長 兼 社長	※Howard Stringer ハワード・ストリンガー
代表執行役 (本社機能におけるCEOの補佐、製品安全・品質、環境担当)	副会長	※中 鉢 良 治
代表執行役 (CFO)	副社長	※大根田 伸 行
執 行 役 (エレクトロニクス事業・ゲーム事業における生産、物流、調達、CSプラットフォーム担当)	副社長	中 川 裕
執 行 役 (コンシューマープロダクツ、プロフェッショナル・ソリューション、デバイス事業担当)	副社長	吉 岡 浩
執 行 役 (知的財産、ディスク製造事業担当)	EVP	木 村 敬 治
執 行 役 (ジェネラル・カウンセル)	EVP	Nicole Seligman ニコール・セリグマン
執 行 役 (ネットワークプロダクツ、ネットワークサービス事業担当)	EVP	平 井 一 夫

(注)※は取締役を兼務する者です。

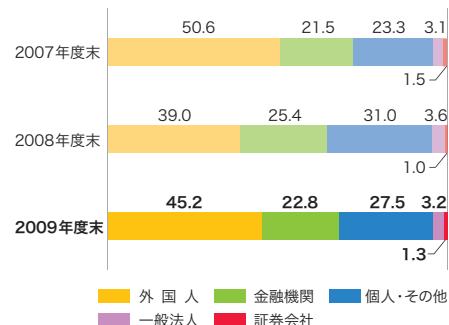
## 株式の状況 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数	3,600,000,000株	単元株式数	100株
発行済株式の総数	1,004,571,464株	上場証券取引所	東京・大阪・ ニューヨーク・ロンドン
株主数	691,901名		

### 株式の所有者別状況

	2007年度末 (2008年3月31日現在)		2008年度末 (2009年3月31日現在)		2009年度末 (2010年3月31日現在)	
	千株	名	千株	名	千株	名
■ 外国人	508,166	1,371	391,611	1,394	453,778	1,400
■ 金融機関	216,108	297	254,990	269	229,011	220
■ 個人・その他	234,246	633,045	311,695	755,092	276,703	686,311
■ 一般法人	31,101	4,108	35,954	4,419	32,310	3,906
■ 証券会社	14,822	124	10,286	68	12,770	64
合計	1,004,443	638,945	1,004,535	761,242	1,004,571	691,901

### 所有者別の持株比率(%)



## 株主メモ

### 株式事務に関するお問い合わせ先

2009年1月5日より実施されました株券電子化にともない、株主様の各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

証券会社に口座を開設されている株主様	お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
「特別口座*」に記録されている株主様	当社の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

\* 株券電子化実施日において「株式会社証券保管振替機構(ほふり)」をご利用でない株主様の権利を確保するために、当社が当該株主様の名義で開設した口座です。

### 企業情報などに関するお問い合わせ先

ソニー株式会社 IR部門 SR部  
〒108-0075 東京都港区港南1丁目7番1号

☎ 0570-010-222(株主ナビダイヤル)

\*受付時間 9:30~17:30(土日・祝日および会社休業日を除く)

\*全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

●携帯電話・PHSなど、ナビダイヤルがご利用にならない場合：03-6748-2111(代表)

✉ Kabu\_net@jp.sony.com(株主Eメール)

### 投資家情報ウェブサイト

<http://www.sony.co.jp/IR/>

トップマネジメントからのメッセージや業績、新製品・新技術などの情報をタイムリーに提供しています。

### アニュアルレポートのご請求

2010年7月頃に発行予定の「アニュアルレポート2010」(年次報告書)の送付をご希望の方は、投資家情報ウェブサイト、または下記の専用電話よりご請求ください。

☎ 0120-122-234(通話料無料)

\*受付時間 9:30~17:30(土日・祝日も受付)

\*受付期限 2010年7月31日まで



ソニー株式会社